

取組 3 活力ある工業の振興

取組の評価

3.0 概ね順調

＜取組3の基本方針＞

- 1 優良企業誘致の推進
2 新たな展開への支援

- 3 経営資源の確保
4 戦略的な人材育成

【取組の目的】 多彩な企業がそれぞれの特性を発揮し、挑戦し続ける、活力ある地域経済基盤を確立します。

『 取 組 』 に 係 る 社 会 の 動 向 ・ 本 市 の 現 状 (主 な 取 組)

◎ リーマンショック後の1ドル70円台という超円高により、輸送機械産業を中心に、輸出依存性の企業は生産拠点を海外へ移した。また、少子化による自然減により、日本人の人口は減少し、工業製品の需要は落ち込んでおり、製造業はさらに日本で製造する意義を失い、市場を海外に生産拠点を移行するという負のスパイラルに陥っている。アベノミクス効果により、円安になったとは言え、輸送機械産業が中心の静岡県西部地区は、リーマンショックからの立ち直りが遅れている。

【本市の現状】 ◎ 優良企業の誘致に向けた活動としては、県東京事務所と連携した企業誘致活動をはじめ、年間通じて首都圏のゼネコン・金融機関等への訪問や県内不動産会社等との情報交換を実施し、山科東工業団地等のＰＲ活動及び引き合いへの対応を行っている。平成25年度から「高度な物流施設」を山科東工業団地の募集対象業種に加えるとともに、産業立地事業費補助金の交付対象にも加える改正を行うなど、産業構造の変化に対応した誘致策を展開している。◎ 市内企業の育成支援及び留置を図るため、市内中小企業の販路拡大や新事業展開の支援などについて、袋井商工会議所や浅羽町商工会等と連携しながら進めるとともに、静岡理工科大学の技術を活用するために、市内企業との交流を促進する取り組みを進めている。

『取組指標』の分析と評価結果

番号	指 標 名	項 目	H24	H25	
1	製造品出荷額等 （従業員4人以上の事業所） 【億円】	目 標 値	5,243	5,541	
		実 績 値	4,429	4,512	
		達成率	伸び率	84.4	▲ 3.8
		評 価	1	2	
2	従業員1人あたり粗付加価値額 （従業員4人以上の事業所） 【万円】	目 標 値	1,418	1,477	
		実 績 値	1,644	1,570	
		達成率	伸び率	115.9	4.9
		評 価	4	3	
3	静岡理工科大学と市内企業の産学交流研究件数（期間の累計）【件】	目 標 値	12	16	
		実 績 値	9	7	
		達成率	伸び率	108.3	18.1
		評 価	1	1	
		目 標 値			
		実 績 値			
		達成率	伸び率		
		評 価			
		目 標 値			
		実 績 値			
		達成率	伸び率		
		評 価			
		評価結果の平均値（A）		2.0	

《評估基準》

4 : 達成率 $\geq 100\%$ ・前年比伸び率 $\geq 0\%$ 3 : 達成率 $\geq 100\%$ ・前年比伸び率 $< 0\%$
2 : 達成率 $< 100\%$ ・前年比伸び率 $\geq 0\%$ 1 : 達成率 $< 100\%$ ・前年比伸び率 $< 0\%$

《指標に影響を与えた主な取組、要因》

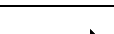
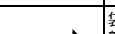
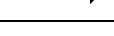
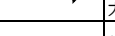
◎ 製造品出荷額等：アベノミクス効果で円安が進んだことにより、製造業の業績がやや持ち直された。
◎ 従業員１人あたり粗不利益：アベノミクス効果で円安が進んだことにより、製造業の業績がやや持ち直されたものの、付加価値額が比較的
低い企業の方が好調であり、１人当たり粗付加価値額は減少した。

『 取 組 』 の 総 合 評 価 と 今 後 の 展 開 方 向

取組の評価					
3.0	概ね順調	各評価結果 の平均値	取組指標の 評価結果 (A)	有効性等の 評価結果 (C)	主要事業の 評価結果 (B)
			2.0	3.7	3.3

《 評 估 基 準 》

4 ～ 3.6 : 順調 3.5 ～ 3 : 概ね順調
2.9 ～ 2 : 一部に改善を要する 1.9 ～ 1 : 全体的に改善を要する

番号	取組の基本方針	H24	H25	今後の展開方向
1	優良企業誘致の推進			業況が回復してきた現在、設備投資の好機となっているため、山科東工業団地や民間遊休地等への優良企業の誘致を促進するとともに、内陸フロンティアの取り組みを進めることによる中長期的な受け皿確保の取り組みを進める。また、企業誘致だけでなく、企業留置に努める。県東京事務所への職員派遣による首脳圏等での人脈や情報を活かし、県外からの企業誘致にも向けた活動を強化する。
2	新たな展開への支援			産学官情報交換会などのマッチング事業を通して静岡理科大学が持つ技術や施設を活用するとともに、市内中小企業の持つ高い技術力や付加価値の高い製品について、新たな販路開拓を進めるため、産業展示会や見本市への出展を支援し、市内企業の活性化を図る。「ビジネスイノベーションコンサルティング事業」や「きらりと輝く袋井ものづくりガイドブック」によるPRなどで、市内企業の育成を図っていく。
3	経営資源の確保			袋井商工会議所、浅羽町商工会とも連携を図り、市内企業における技術、人材、情報、資金の資源確保力を高め経営革新を促進する。また、市内外の事業所で勤務経験のある製造業OBの存在を活かし、地域での活用を積極的に進める。企業の技術的課題の解決については、静岡理科大学の研究者が相談を受ける「技術相談窓口」の活用を促し、企業と大学の連携強化を図る。
4	戦略的な人材育成			袋井商工会議所が実施する起業家の育成・支援事業を推進するとともに、市内企業の人材育成としては、静岡理科大学の先端機器分析センター及びやままい創造工学センターを活用した取り組みを推進する。また、市内小・中学校において理科や科学のおもしろさを伝え知的な好奇心を高めるなどの取り組みも進める。

《展開方向》

拡充（順調）

拡充（改善必要）

繼續推進

縮小

『主要事業』に係る事業評価表の評価結果

番号	主 要 事 業 名	事 業 評 価 表 の 評 価 結 果		
		有 効 性	効 率 性	廃止の影響
		4. 極めて有効 3. 有効 2. 一部有効でない 1. 有効でない	4. 極めて効率的 3. 効率的 2. 一部効率的でない 1. 効率的でない	4. 極めて影響あり 3. 影響あり 2. どちらでもない 1. なし又は代替手法あり
1	産学関連推進事業	3	3	4
2	学術交流振興助成事業（産学交流研究開発事業助成事業）	3	3	3
3	県企業立地市町推進連絡会事業	3	3	3
4	工業用地開発推進事業	4	4	3
5	静岡県東京事務所職員派遣事業	3	3	3
6	サンライフ袋井運営事業	3	3	3
7	土地利用のあり方検討事業	4	2	4
8	袋井商工会議所補助事業（再掲）	4	4	4
9	浅羽町商工会補助事業（再掲）	4	4	4
10	産業立地事業費補助金	3	3	3
				</

評価結果の平均値 (B)	3.3	3.4	3.2	3.4
--------------	-----	-----	-----	-----